

「みなとオアシスひらら」 「みなとオアシスいしがき」が 新規登録されました

NO.8



【開発建設部】

- ・旅客ターミナル・地元産品の販売
- ・地域住民、観光客、クルーズ旅客などの交流及び休憩機能
- ・地域の観光及び交通に関する情報提供機能
- ・その他(災害時の支援、商業機能)

- 「みなとオアシス」に登録されると
- 「みなとオアシス」が担う役割

みなとオアシス標準章の使用や国土交通省、沖縄総合事務局のホームページでの情報発信などの広報支援を受けることができます。また、みなとオアシスを構成する港湾施設を整備する場合は社会資本整備交付金の優先的な配分やインバウンドに対応した施設の場合には観光庁の訪日外国人旅行者受入基盤整備事業などの補助メニューも用意されています。さらには、みなとオアシス全国協議会へ加入することができ、全国のみなとオアシスと連携した取り組みが可能となり、「みなとオアシスSea級グルメ全国大会」への参加など全国規模の催しで地元のみなとPRし、地域活性化の取り組みとしても活用が可能となります。

みなとオアシス標準章の使用や国土交通省、沖縄総合事務局のホームページでの情報発信などの広報支援を受けることができます。また、みなとオアシスを構成する港湾施設を整備する場合は社会資本整備交付金の優先的な配分やインバウンドに対応した施設の場合には観光庁の訪日外国人旅行者受入基盤整備事業などの補助メニューも用意されています。さらには、みなとオアシス全国協議会へ加入することができ、全国のみなとオアシスと連携した取り組みが可能となり、「みなとオアシスSea級グルメ全国大会」への参加など全国規模の催しで地元のみなとPRし、地域活性化の取り組みとしても活用が可能となります。



「みなとオアシスひらら」の紹介

「みなとオアシスひらら」は平成5年6月に宮古島市によって整備された「平良港マリナターミナル」を代表施設



▲構成施設:パイナガマビーチ

◎登録証交付式

7月15日に開催された「平良港みなとフェスタ2018」において、島尻安伊子沖縄担当大臣補佐官、儀間光男参議院議員ら多くのご来賓参列のもと、みなとオアシス登録証の

交付式では、アトラクションとして地元竹の子保育園の園児が元気いっぱいの演舞で式に花を添え、関係者による記念撮影が行われました。また、同日開催された「みなとフェスタ2018」では海上巡視



▲設置者として挨拶する下地敏彦市長
左上／来賓祝辞を述べる儀間光男参議院議員
左下／来賓祝辞を述べる島尻安伊子大臣補佐官

▲登録証交付式: 平良港マリナターミナル



▲上／構成施設 石垣港旅客船ターミナル
左上／代表施設 ユーグレナ石垣港離島ターミナル
左下／構成施設 新港地区緑地（南ぬ浜緑地公園）

「みなとオアシスいしがき」は平成18年12月に石垣市によって整備された「ユーグレナ石垣港離島ターミナル」を代表施設とし、竹富島・西表島・小浜島・黒島など周辺離島航路の拠点となっており、地元住民の暮らしやビジネスの拠点として、さらには観光客の移動の結節点として年間200万人を超える人々が利用しています。また、大型クルーズ船が沖泊寄港する際は、テンダーボートによる上陸場所として活用されており、八重山圏域の観光振興を支える玄関口として、一年を通して多くの利用者が賑わっています。

「みなとオアシスいしがき」の構成施設である、「石垣港旅客船ターミナル」は石垣港新港地区に位置し、クルーズ船専用岸壁として本トン級までのクルーズ船を受け入れることが可能となりました。同じく構成施設の「新港地区緑地」は「南ぬ浜町緑地公園」として親しまれており、毎年夏に開催される「南の島の星まつり」は夏の風物詩として定着し、多くの市民、観光客で賑わいます。



▲右上／設置者として挨拶する中山義隆市長
右下／来賓祝辞を述べる島尻安伊子大臣補佐官
左上／来賓祝辞を述べる儀間光男参議院議員
左下／来賓祝辞を述べる伊波洋一参議院議員

儀間光男参議院議員は「沖縄県、八重山圏域は島嶼であるが故に、港湾、空港の重要性が高くなります。今後、アジアのゲートウェイとして、親しまれる港になることを祈念します。」と祝辞を述べられました。

登録式では、地元バンドや八重山民謡ライブが行われ、多くの市民や観光客で賑わいました。

「みなとの夕べ」と題して行われた船上ステージでのプログラムの冒頭で行われた交付式では、はじめに登録者である国土交通省港湾局長のご挨拶を中島靖内閣府沖縄総合事務局開発建設部長が代読し、その後、来賓の皆様より祝辞が述べられました。



▲中島靖開発建設部長から中山義隆市長へ登録証を交付

◎ 沖縄みなとオアシス

沖縄本島北部に位置し、本部港各渡久地地区、本部地区、水納港ぶ、「谷茶公園」、「もとぶ元気村」で構成されています。本部港には官民連携により、国際クルーズ拠点の整備も進められており、沖縄北部観光の拠点として期待されるみなとオアシスです。

今回の「みなとオアシスひらら」、「みなとオアシスいしがき」の登録で県内のみなとオアシスは5箇所となりました。それぞれのみなとオアシスでは地域住民と観光客の交流促進や情報発信をはじめ、地域の特性を活かした賑わい創出など、住民参加による「みなと」を核としたまちづくりが進められています。

○ みなとオアシスもとぶ(本部港・水納港)

沖縄最大の玄関口である那覇に設置されたオアシスで、「那覇クルーズターミナル」を代表施設とし、「那覇ふ頭旅客待合所」、「波の上ビル」、「波の上うみそら公園」、「若狭海浜公園」、「三重城小舟溜」、「泊いゆまち」、「とまり緑地」で構成されています。2017年クルーズ船寄港回数が224回と全国第3位となつた那覇港の周辺に点在する各施設では年間を通して様々なイベントが開催され、観光・交流の拠点として賑わっています。

○ みなとオアシスなは(那覇港)

沖縄本島南部の東海岸に位置し、「あざまサンサンビーチ」を中心と/or>、体験滞在交流センター「がんばり」「安座真船待合所」、「知念岬公園」で構成されています。琉球開闢神話が残る神の島「久高島」への拠点である「安座真船待合所」は久高島住民をはじめ、多くの観光客に利用されているほか、「あざまサンサンビーチ」には約年間6万人を超える人々が訪れ、バーベキューなどを楽しんでいます。



▲船上ステージにて記念撮影

◎ 登録証交付式

7月16日に開催

された「2018石垣港みなとまつり」において、島尻安伊子沖縄担当大臣補佐官、儀間光男参議院議員、伊波洋一参議院議員ら多くのご来賓参列のもと、みなとオアシス登録証の交付式が行われました。

「みなとの夕べ」と題して行われた船上ステージでのプログラムの冒頭で行われた交付式では、はじめに登録者である国土交通省港湾局長のご挨拶を中島靖内閣府沖縄総合事務局開発建設部長が代読し、その後、来賓の皆様より祝辞が述べられました。

登録証交付式に引き続き、ステージでは地元バンドや八重山民謡ライブが行われ、多くの市民や観光客で賑わいました。

○ みなとオアシスあざま(中城湾港安座真地区)

沖縄本島南部の東海岸に位置し、「あざまサンサンビーチ」「がんばり」「安座真船待合所」、「知念岬公園」で構成されています。琉球開闢神話が残る神の島「久高島」への拠点である「安座真船待合所」は久高島住民をはじめ、多くの観光客に利用されているほか、「あざまサンサンビーチ」には約年間6万人を超える人々が訪れ、バーベキューなどを楽しんでいます。

